

乳牛の現場飼養管理再確認による生産性の維持・向上

(JA道東あさひ別海本所・根室支所管内改善志向農家)

1 課題の背景 *****

○対象：JA道東あさひ別海本所・根室支所管内改善志向農家4戸

課題

酪農情勢の変化に対応した飼養管理の精査と改善が求められている

目標

生産及び改善目標の達成目標

2 活動の経過 *****



消化性把握のため調査 (C農場)



農業者と分娩房の改修作業 (D農場)

3 活動の成果 *****

農場	経営形態	目標	具体的支援 ※ () は活動期間内に追加した支援	達成状況
A	FS・ロボット	敷料管理作業の平準化	他の敷料資材の検討・情報提供	○
B	FS・ロボット	生産性の向上	—	—
C	FS・ロボット	生産性の向上	給与飼料内容の検討(草地更新時の雑草処理)	○
D	FS・ロボット	分娩時事故の減少	分娩房に死角を設置(代用乳の増給)	◎

◎：達成(対策完了) ○：継続中

B・C農場

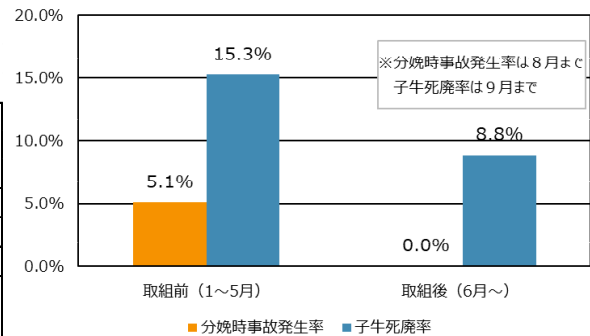
糞洗いの結果、乾物摂取量の高い牛ほど飼料エネルギーのロスが見受けられ、単味飼料や飼料バランスの検討が必要だと示唆された

C農場糞洗い結果

調査日時	10月19日		2月1日		販売元 ガイドラ イン
	泌乳ピーク	泌乳後期	泌乳ピーク	泌乳後期	
平均分娩後日数	79日	182日	67日	245日	
上段	54%	41%	33%	27%	20%以下
中段	25%	47%	36%	43%	20%以下
下段	22%	11%	31%	30%	50%以上
備考	R5年度産GS1st ハンカー切り替わり直後 調査直前に削蹄あり		R5年度産GS1st+2nd ハンカー切り替わり後品 質安定		

D農場

分娩時事故(難産や産褥熱)が低減し、子牛死廃率も低減した



4 今後の活動 *****

- 酪農情勢や農業者の作業性を鑑みながら、飼養環境や飼料等に関する継続支援を行う。
- 追加、継続支援が必要な対象者へのフォローと都度の飼養管理に係る要請対応を行う。